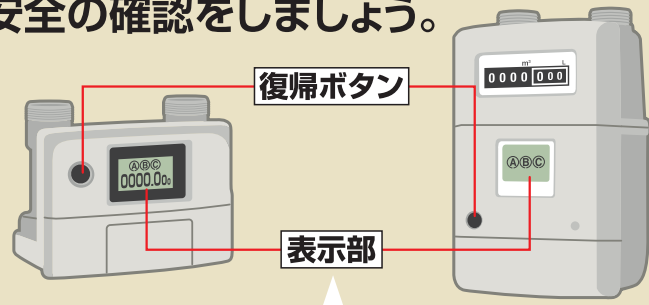


ガスが突然止まったら!

まずは、ガスのしゃ断原因と安全の確認をしましょう。



ガスの使用中、震度5相当以上の地震が発生した場合。



ガス器具の消し忘れなど、長時間ガスを使用され続けた場合。



ゴム管の外れなど、極めて多くのガスが流れた場合。

ガス漏れやガス臭いときは、右の復帰操作は行わず、LPガス販売店か緊急時連絡先に連絡してください。

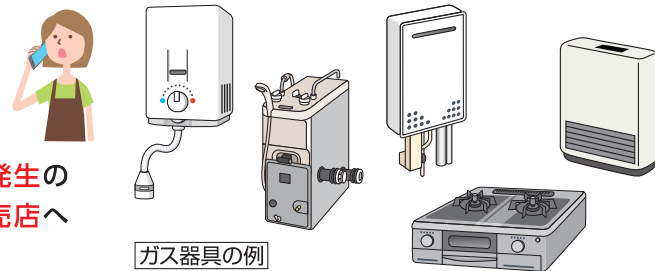
※ガスを使用していないときは、ガスをしゃ断しない機能になっています。
※復帰操作をしても「復帰」しない場合は復帰操作を繰り返さず、LPガス販売店の点検を受けてください。

ガスメーターの復帰方法

- 器具栓をすべて閉めてください。
 - 使っていないガスの元栓が閉まっていることを確認してください。
- 左側の復帰ボタンを押してください。
 - 「ガス止」の文字が消えます。
- 液晶の文字とランプが点滅します。
 - 1分間お待ちください。
 - ※ランプが復帰ボタン部にあるものもあります。
- 液晶の文字とランプが消えます。
 - 復帰完了です。
 - ガスは使えます。

ガス器具は10年経ったら点検を依頼しましょう。

長期間使用しているガス器具は、部品などの劣化により事故発生のおそれがあります。10年経ったら、メーカー又はガス器具販売店へ点検を依頼してください。



ガス器具の例

ガス器具・換気扇等の点検・修理の連絡先 (記入欄)

※点検・修理の連絡先は、あらかじめ取扱説明書や器具メーカーのホームページ等で確認してください。

品名・器具名	メーカー名	設置年月	点検・修理の連絡先
①			
②			
③			
④			
⑤			

LPガス緊急時の連絡先

連絡先:

電話:

LPガス販売店名

緊急時の連絡先は24時間対応しています。



安全・安心に お使いいただく ために

キッチンやリビングなど、
家族の血をなめくする
場所には気を付けてね。



ガス臭い
と感じたら、
その時の対応は!

火気は絶対に
使用しないで
ください。



危険

- 着火源となる裸火、換気扇、電気などのスイッチにも絶対手を触れないでください。
- 電気のスイッチは切る時にも火花がでます。切ることもしないでください。



戸や窓を大きく
あけてガスを外に
追い出して。



- LPガスは空気より重いため、低いところに溜まったガスにもご注意ください。

すべての器具栓、
ガスの元栓を
閉めて。

- メーターガス栓か容器バルブは必ず閉めてください。



◎メーターガス栓の位置がわからない時は、あらかじめLPガス販売店に確認してください。

ガス漏れの状況を
すぐに連絡して
ください。

「緊急時の連絡先」への
連絡手順

- お名前
- ご住所
- ご近所の目標
- その場の状況

「緊急時の連絡先」の
指示に従ってください。

◎安全確認が済むまで
ガスは使用しないで
ください。

◎緊急時の連絡先は、あらかじめLPガス販売店に確認してください。◎緊急時の連絡先は、24時間対応しています。

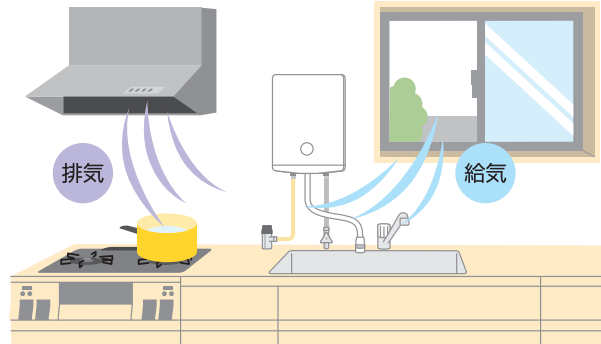


日々、皆さまに行っていただきたい 安全チェックのポイント！

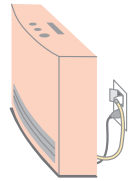
- ✓ CO中毒事故を防ぐために！
- ✓ ガス漏れ事故を防ぐために！

換気の確認

- ガスを使う場合は換気を習慣に！

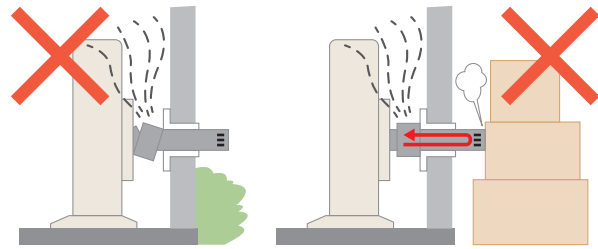


ストーブ、ガスファンヒーターをご使用の皆さまへ
1時間に1～2回、窓を開けて換気してください。



屋外から給排気する燃焼機器は

- 排気筒がはずれていないか！
- 排気口がふさがっていないか！
- 排気筒の先端が屋外に出ているか！



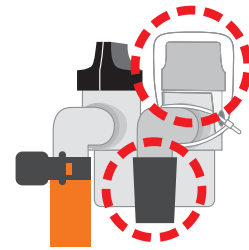
点火の確認

点火の繰り返し・再点火 立ち消え

- 点火を確認しないことによる事故が発生しています。必ず目で確認を！
- 点火操作を繰り返し、器具に溜まったガスに引火する事故が発生しています。再点火する時はご注意ください！
※乾電池が切れていると点火できません。
※器具が点火しにくい場合は、すぐに器具メーカーに点検を依頼してください。

使っていないガスの元栓は

- つまみは「閉」になっているか！
※つまみを間違っあけてしまわないようガス栓カバーをつけておきましょう。
- ガスの元栓のゴムキャップがついているか！



ゴムホース(ゴム管)は

- 焼けこげやひび割れができていないか！
- ガスの元栓の赤い線まで差し込まれているか！
- ホースバンドでしっかり止まっているか！



ホースバンド



CO(一酸化炭素)中毒について！

燃焼器具は空気(酸素)が不足したままで使用していると不完全燃焼を起こし、CO(一酸化炭素)が発生します。COは毒性がとても強く少し吸い込んだだけでも頭痛・吐き気などがし、気がついた時には動けず死にいたる危険性があります。CO警報器の設置をおすすめします。



- ✓ もしも・・・のために！

CO警報器は ガス警報器は

- 掃除機などの使用後は、必ず電源が元通りになっているか！
- コンセントから抜けていないか！

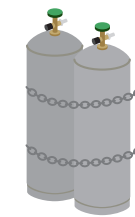


ガス警報器の例 CO警報器の例

ガス警報器やCO警報器を設置すれば、異常をブザーや音声でお知らせするため安心です。
※警報器の交換期限は5年です。

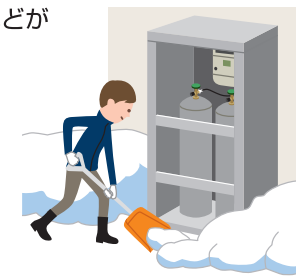
LPガス容器は

- くさりの2重掛けを推奨
- 火気との距離は2m以上に！



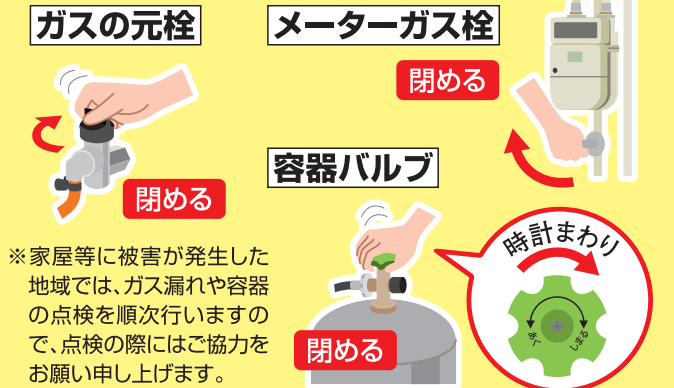
雪害対策

- 雪で調整器やガスメーターなどがこわれる恐れがあります。雪囲いや容器小屋の点検をお願いします。
- 雪おろしの時は、LPガス設備に損傷を与えないよう注意してください。



地震・火災・災害が起きたら

避難するときやガスの臭いがするときは、ガスの使用をやめて、器具栓、ガスの元栓、メーターガス栓および容器バルブをすべて閉めてください。



※家屋等に被害が発生した地域では、ガス漏れや容器の点検を順次行いますので、点検の際にはご協力をお願い申し上げます。

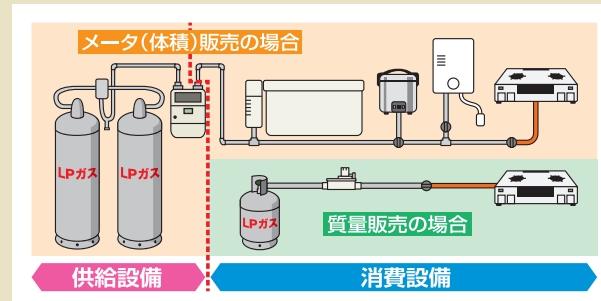
こんなときはすぐに連絡を！

炎 操作 器具	炎が安定しない	炎が黄色い	炎のない部分がある
	使用中に消火した	爆発的に着火する	火移りしにくい
	点火しにくい	点火しない	
	異常音をたてて燃える	ガスの臭いがする	
	運転中に排気ガスの臭いがする		

- 器具メーカーかLPガス販売店に、すぐに点検を依頼してください。
- 点検・調査は無料で行いますが、修理や改善が必要なときは有料となります。

ガス器具の安全管理について

- LPガス容器からガスメーターの出口までは「供給設備」と呼ばれ、LPガス販売店が責任を持って点検と維持管理を行います。
- ガスメーターの出口からガス器具までは「消費設備」と呼ばれ、法律上の管理責任は消費者の皆さまにあります。日常の点検・維持管理は、ふだんLPガスを使っている皆さまで行ってください。



LPガスの保安業務について

LPガスを安全にお使いいただくために、法律に基づき定期的に周知や消費者宅の点検・調査の保安業務を行います。認定を受けた保安機関に販売店が委託している場合があります。保安機関が訪ねた時はご協力をお願いいたします。

◎「保安業務」は無料で行います。「消費設備」の修理や改善が必要な時は有料となります。

周知

年1回または2年に1回

使用上の注意点や事故を起さないための情報などを定期的に文書でお知らせします。

緊急時連絡と緊急時対応

ガス漏れなどの時、すみやかに対応します。
緊急時は30分以内に無料対応
緊急時の連絡先は夜間・休日も対応

